

防災だより

平成30年5月号

あたりまえだと思っていた日々が、一瞬で崩れ去り、生活も人の心も変えてしまう。それが自然災害の怖さです。

今回のテーマ



そのときどうするか？

まず自分の命を守る これが大切です。

学校で地震に遭ったら →

① 身の安全を確保する

危険物（窓や棚、その他倒壊しそうなもの）から離れ、頭部を保護する。（机の下に潜る、鞆で頭を守る）

登下校、部活で移動時に

地震に遭ったら

基本的には右と同じ。ただし、②の避難は、近くの指定された避難場所（下記のマークがある場所）に行く。



緊急避難場所マーク

② 状況を確認し、避難する（裏面の経路確認）

建物の外へ避難する。注意点は、押すな、駆けるな、ざわざわするな、きびきびと行動する。周囲にけが人がいれば介助する。

③ 避難したら点呼を取り、静かに待機。

途中で動けない人やけが人と会っていたら報告する。

熊本地震からちょうど2年が経ちました。熊本地震の規模を示すマグニチュードは7.3、最大震度7。現在も仮設生活者は約3万8千人、熊本城は復興計画によると完成まで約20年かかる見込みです。地震大国の日本では、あたりまえだと思っていた日々が一瞬で崩れ去り、生活も人の心も変えてしまう。そんな自然災害の怖さを再認識しましょう。

第1回防災避難訓練の報告

今回は避難開始から集合完了まで8分08秒でした。昨年4月の避難訓練では、8分01秒でした。また、下校班訓練は、6分30秒でした。校長先生のご講評にもありましたが、全員が素早く安全に避難できました。普段から非常時に、自らの身の安全を確保する行動がとれるように心がけて下さい。また、北高は敷地が広いので、避難時に混乱することがないように、普段から避難経路を確認しておきましょう。夏休み明けに、2回目の訓練があります。今回の経験を生かして、迅速な行動ができるように心がけましょう。